

令和5年度 第1回評議員会議案書

- 第1号議案 令和4年度事業報告の件
第2号議案 令和4年度決算報告の件
第3号議案 令和5年度及び6年度の理事の
選任の件

第 1 号議案 令和 4 年度事業報告の件

令和 4 年度の事業は、公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会定款第 4 条に基づき、次により「フットサル等スポーツ活動の普及事業」及び「フットサル等競技会等の開催・助成事業」「フットサル等スポーツ活動の調査・研究事業」を、計画通りに実施することができました。

令和 4 年度の総事業費は、7,158,812 円でした。

公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会 定款

(事業)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) フットサル等スポーツ活動の普及
- (2) フットサル等競技会等の開催・助成
- (3) フットサル等スポーツ活動の調査・研究
- (4) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

2 前項第 1 号の事業は、北海道において行うものとする。

1 定款第4条1のフットサル等スポーツ活動の普及事業

1-1 スポーツ用品の寄贈事業

本事業は、特別支援学校で求められているフットサルボール及び簡易室内ゴール、ボッチャ用具、ティーボール用具、フロアカーリング用サポートスティック、柔軟性コーナーポスト、水泳用フロートクッション、ブラインドサッカーボール等を12カテゴリー・メニューに分けて、それぞれ希望する道内特別支援学校38校にスポーツ用具及び送料、合計1,053,362円を寄贈した。

No.	SET	3号球		4号球		ゴール		ボッチャ		ティーボールSET		フットサルボール		サポートスティック		コーナーポスト		コート標		補助用具		アイマスクSET		ゴールボール		小計	送料	合計(税込)		
		数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価					
1	美深高等養護学校	M																				1	¥4,950	1	¥24,035	¥28,985	¥1,800	¥30,785		
2	旭川高等支援学校	E					1	¥22,000																	¥22,000	¥1,800	¥23,800			
3	札幌養護学校白樺高等学校	K																			1	¥28,224			¥28,224	¥5,500	¥33,724			
4	手稲養護学校	D			2	¥9,570																			¥19,140	¥6,500	¥25,640			
5	小樽高等支援学校	F							1	¥21,450	1	¥935														¥22,385	¥1,800	¥24,185		
6	帯広官学校	K																			1	¥28,224			¥28,224	¥5,500	¥33,724			
7	中札内高等養護学校	B		2	¥2,583	1	¥9,570																			¥14,696	¥6,600	¥21,296		
8	網走養護学校	L																				1	¥13,640	1	¥4,950	¥18,590	¥1,800	¥20,390		
9	函館高等支援学校	E					1	¥22,000																		¥22,000	¥1,800	¥23,800		
10	室蘭養護学校	E					1	¥22,000																			¥22,000	¥1,800	¥23,800	
11	中標津支援学校	E					1	¥22,000																			¥22,000	¥1,800	¥23,800	
12	中札内高等養護学校白樺分校	K																			1	¥28,224			¥28,224	¥5,500	¥33,724			
13	室蘭養護学校日新高等学校	L																				1	¥13,640	1	¥4,950	¥18,590	¥1,800	¥20,390		
14	釧路養護学校	B		2	¥2,583	1	¥9,570																				¥14,696	¥6,600	¥21,296	
15	室蘭養護学校日新高等学校	D			2	¥9,570																					¥19,140	¥6,500	¥25,640	
16	札幌高等養護学校	H														2	¥9,900										¥19,800	¥3,800	¥23,600	
17	用能高等養護学校	E					1	¥22,000																			¥22,000	¥1,800	¥23,800	
18	札幌伏見支援学校	E					1	¥22,000																			¥22,000	¥1,800	¥23,800	
19	旭川養護学校	M																				1	¥4,950	1	¥24,035	¥28,985	¥1,800	¥30,785		
20	函館養護学校	G														3	¥7,315										¥21,945	¥1,800	¥23,745	
21	岨見沢高等養護学校	H														2	¥9,900										¥19,800	¥3,800	¥23,600	
22	札幌養護学校	K																			1	¥28,224			¥28,224	¥5,500	¥33,724			
23	白樺高等養護学校	F							1	¥21,450	1	¥935															¥22,385	¥1,800	¥24,185	
24	室蘭養護学校	J																			1	¥12,672			¥12,672	¥5,500	¥18,172			
25	札幌高等養護学校白樺分校	E					1	¥22,000																			¥22,000	¥1,800	¥23,800	
26	札幌伏見高等養護学校	F							1	¥21,450	1	¥935																¥22,385	¥1,800	¥24,185
27	札幌伏見高等養護学校	J																			1	¥12,672			¥12,672	¥5,500	¥18,172			
28	北斗高等支援学校	F							1	¥21,450	1	¥935															¥22,385	¥1,800	¥24,185	
29	美幌養護学校	F							1	¥21,450	1	¥935															¥22,385	¥1,800	¥24,185	
30	手稲養護学校三島山分校	H														2	¥9,900										¥19,800	¥3,800	¥23,600	
31	札幌養護学校	A	2	¥3,465		1	¥9,570																				¥16,500	¥6,600	¥23,100	
32	札幌養護学校	E						1	¥22,000																		¥22,000	¥1,800	¥23,800	
33	札幌養護学校三島山分校	E						1	¥22,000																		¥22,000	¥1,800	¥23,800	
34	真駒内養護学校	F							1	¥21,450	1	¥935															¥22,385	¥1,800	¥24,185	
35	高等養護学校	E						1	¥22,000																		¥22,000	¥1,800	¥23,800	
36	帯広養護学校	M																				1	¥4,950	1	¥24,035	¥28,985	¥1,800	¥30,785		
37	今金高等養護学校	F							1	¥21,450	1	¥935															¥22,385	¥1,800	¥24,185	
38	南幌養護学校	A	2	¥3,465		1	¥9,570																				¥16,500	¥6,600	¥23,100	
39	南幌養護学校	F							1	¥21,450	1	¥935															¥22,385	¥1,800	¥24,185	
40	苫小牧支援学校	A	2	¥3,465		1	¥9,570																				¥16,500	¥6,600	¥23,100	
41	苫小牧支援学校	H														2	¥9,900										¥19,800	¥3,800	¥23,600	
42	日体大附属	E						1	¥22,000																		¥22,000	¥1,800	¥23,800	
			6	4	9	11	6	8	3	8	2	4	3	6	3											¥912,362	¥141,000	¥1,053,362		

1-2 フットサル指導員の派遣事業

令和4年度から、フットサル指導員の派遣における道内全域の特別支援学校派遣時の交通事故災害等の危険性を鑑み、札幌市近郊の特別支援学級での「ちゃれんじ・ふっと・ぼーる」事業を札幌市立特別支援学級・通級指導教室設置校長協会との連携で20校の小中学校で実施した。事業費は、350,000万円。

2022年度 ちゃれんじ・ふっと・ぼーる 実施概要	
1. 主旨	札幌市特別支援学級を対象にボールを使った“遊び”やゲームを取り入れ、多くの子どもたちに笑顔でフットサルを楽しむ機会をつくり、子どもたちの心身の健やかな育成に寄与する。
2. 主催	公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会
3. 主管	一般社団法人エスポラーダ北海道スポーツクラブ
4. 後援	札幌市特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会（札幌協）
5. 実施期間	2022年4月～2022年2月末頃まで
6. 時間	1単位時間(小学校45分間、中学校50分間)
7. 対象	札幌市小学校及び中学校特別支援学級（20校）
8. 場所	各学校体育館等施設
9. 実施内容	エスポラーダ北海道関係者が楽しく笑顔になるよう指導します。 1) 準備運動 2) 動き作りの運動 3) ボールを使った遊び方 4) フットサルゲーム ※屋内、屋外を問わずあまり広くないスペースでも実施できます。 ※暑い時、寒い時など子どもたちの健康を十分に考慮します。
10. 用具	1) ボール等は、持参します。2) ビブスは、各学校で用意してください。
11. 費用	無料、公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会が負担します。
12. 申込先	所定の申込書でエスポラーダ北海道にメールでお申し込みください。 エスポラーダ北海道 広報担当：安藤 メールアドレス： info@espolada.com
13. その他	・実施日程及び実施学級数は、申込を受けて札幌協とエスポラーダ北海道とで協議 ・活動後は、各学校担任等の方は、A4版1枚程度の「札幌市特別支援学級『ちゃれんじ・ふっと・ぼーる』活動記録」を、エスポラーダ北海道に送付します。なお、この活動記録は、主催者法人のホームページで開示しますので、写真は、個人情報に留意し、編集等してください。

活動記録例 公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会主催「ちゃれんじ・ふっと・ぼーる」

学校名 札幌市立豊園小学校

記録者 長藤 彩香

期日 2022年7月11日

児童生徒数 18名

エスポラーダ北海道の指導・支援者名

トップチーム監督 金井 一哉さん

活動概要

- ・ウォーミングアップ
- ・動きづくりの運動
- ・ゲーム

活動結果(記録者のご意見、児童生徒の感想等)

どの子ども楽しみながらたくさん体を動かして、活動する姿が見られました。ドリブルやシュートが初めてできた子ども居り、「できた！」と喜んでいました。

活動写真(主催者法人のホームページに掲載します)



2 定款第4条2のフットサル等競技会の開催・助成事業

1-1 第6回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会 兼第1回全国特別支援学校フットサル大会北海道地区大会の開催

本大会は、7月29日(金)、道立野幌総合運動公園体育館で、江別市教育委員会及びエスポラーダ北海道、札幌北の杜ライオンズクラブ等と連携・協力して、参加校15校(カテゴリー1は1校、カテゴリー2は13校、1校はエキシビジョンの参加)の大会を開催した。

事業費は、2,418,839円。

2022 第6回 小野寺眞悟杯特別支援学校フットサル大会 結果表

Aブロック

	千歳	今金	中札内	豊明	勝ち点	得失点差	順位
千歳		3 ○ 1	0 ● 8	0 ● 5	3	-11	3
今金	1 ● 3		0 ● 5	0 ● 4	0	-11	4
中札内	8 ○ 0	5 ○ 0		3 ○ 1	9	15	1
豊明	5 ○ 0	4 ○ 0	1 ● 3		6	7	2

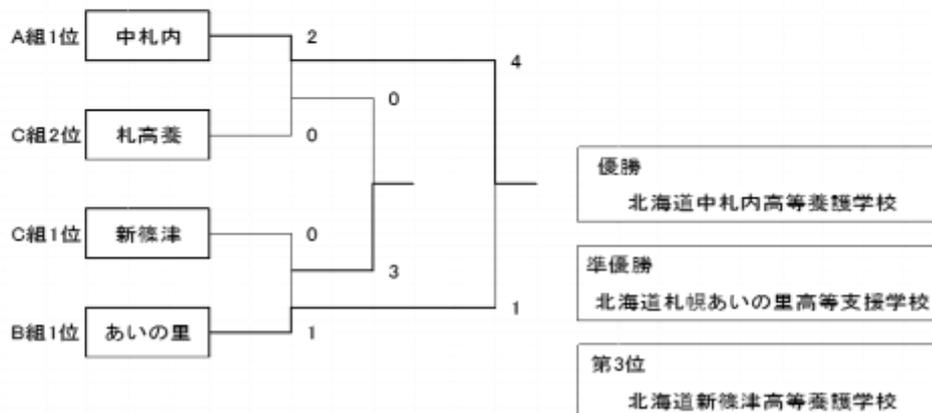
Bブロック

	あいの里	小樽	伊達	紋別	勝ち点	得失点差	順位
あいの里		4 ○ 1	2 ○ 1	5 ○ 1	9	8	1
小樽	1 ● 4		1 ○ 0	4 ○ 1	6	1	2
伊達	1 ● 2	0 ● 1		0 ● 1	0	-3	4
紋別	1 ● 5	1 ● 4	1 ○ 0		3	-6	3

Cブロック

	新篠津	函館	白樺	札高菱	みなみの杜	勝ち点	得失点差	順位
新篠津		4 ○ 0	2 ○ 0	3 ○ 0	4 ○ 0	12	13	1
函館	0 ● 4		1 ● 3	0 ● 6	0 ● 8	0	-20	5
白樺	0 ● 2	3 ○ 1		1 ● 2	0 ● 4	3	-5	4
札高菱	0 ● 3	6 ○ 0	2 ○ 1		4 ○ 3	9	5	2
みなみの杜	0 ● 4	8 ○ 0	4 ○ 0	3 ● 4		6	7	3

決勝トーナメント



3 定款第4条3のフットサル等スポーツ活動の調査・研究事業

3-1 スポーツ活動に係る実践研究校の指定

令和4年度は、次表の8校の研究テーマに基づく実践研究に対して、1校10万円の研究助成を行いました。各実践研究指定校から提出された研究論文は編纂整理し、スポーツ研究成果報告書2022(No.6)として、北海道小樽高等支援学校で400部印刷し、文部科学省特別支援教育課及び国立特別支援教育総合研究所、北海道紀要育委員会等の道内特別支援学校等関係機関に配布した。事業費は、953,400円。

学校名	研究テーマ
1 北海道手稲養護学校三角山分校	体育の授業における車椅子ラグビーの取組
2 北海道旭川養護学校	ハンドアーチェリーの取組について
3 北海道真駒内養護学校	球技における授業改善と教材教具の工夫について
4 北海道教育大学	中学校特別支援学級における教師の体育授業の特徴
5 北海道苫小牧支援学校	身体活動を活発にした遊びの授業づくり
6 北海道苫小牧支援学校	主体的・対話的で深い学びを目指した授業づくり
7 北海道紋別高等養護学校	紋別高等養護学校におけるバドミントン部の指導実践
8 北海道札幌養護学校	ICTを活用したわかりやすく、子供たちが主体的に学ぶ授業づくり



公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会
パラスポーツ研究成果報告書
2022(No.6)

はばたいて
いきたくて

つぐみ
つぎへ

～スポーツ基本法 前文～より

スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を奉ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等、人格の形成に大きな影響を及ぼすものである。

また、スポーツは、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであり、人間関係の尊厳化等の課題を抱える地域社会の再生に寄与するものである。さらに、スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた高齢社会の実現に不可欠である。

巻 頭 言

中国を発生とする新型コロナウイルス感染症は、3年間、感染症法上の「新型インフルエンザ等感染症」に位置付けられたことから、「法律に基づく入院勧告・措置、外出自粛要請」等が、道内の特別支援学校にも求められました。この関係で、特にスポーツ活動は窮乏な思いの中で、各担任教師の方々の創意と工夫を発揮して行われていたことと敬意を表する次第です。

本研究成果報告書に掲載された各論文は、このような中において、学校・学部を挙げて取り組んだ実践研究や、障がいの状況を踏まえた中でインクルーシブな視点で取り組んだ実践研究、また部活動として新たな分野を切り開こうとした実践研究、特別支援学級としては初めての実践研究等、研究担当者の情熱が凝縮された内容になっております。このように新型コロナウイルス感染症の広がりの中で、種々の困難さを克服して実践研究に携わられた各研究担当者の皆様には敬意を表しますとともに、心よりの御礼を申し上げます。

さて、我が国のライオンズクラブの皆様方は、令和4年2022年度、全国特別支援学校フットサル大会を創設されました。本道の代表は、第9回小野寺旗杯北海道特別支援学校フットサル大会で優勝した北海道中札内高等養護学校でした。同校は、惜しくも全国優勝は逃しましたが、第4位という立派な成績を残しました。この大会は、監督やコーチなどの指示を伝えることができない競技規則の中で競技が行われる大会です。まさに生徒が自ら判断し、決定し、行動することができなければ勝利することができない大会です。

特別支援学校の教育活動として行われるスポーツ活動は、本来に向かって成長しようとしている子供たちが持っている潜在的な行動力を、多様なスポーツ活動を通じて発露させ、高めさせようとするものです。このため、児童生徒個々の障がいの状況や興味関心を適切に把握して、創意工夫の下で、楽しくスポーツ活動することができるよう努めることが求められます。

公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会は、本道の特別支援学校に学ぶ児童生徒が、将来の自立に向けた豊かな心と逞しい体を持つことができるよう各種スポーツ活動を支援してまいりますので、関係各位の忌憚のないご意見ご指導などお願い申し上げます。

2023年令和5年3月
公益財団法人 小野寺パラスポーツ振興
理事長 小野寺 眞 悟

4 管理費

管理費の総計は、2,383,211円。

(単位 円)

区 分	令和4年度支出
役員報酬	111,370
給与手当	1,200,000
旅費交通費	236,660
委託費	170,184
租税公課	3,332
支払手数料	157,850
通信費	44,005
消耗品費	20,900
雑費	113,200
食糧費	325,710
総計	2,383,211

第2号議案 令和4年度決算報告の件

令和4年度の決算報告は以下の通りです。令和4年度事業報告のご賛同の決議をお願いいたします。

貸借対照表 令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,066,787	1,070,493	△ 3,706
仮払金		152,960	△ 152,960
流動資産合計	1,066,787	1,223,453	△ 156,666
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産積立資金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2) 特定資産			
公益目的事業引当資産	6,017,456	13,176,268	△ 7,158,812
特定資産合計	6,017,456	13,176,268	△ 7,158,812
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	56,017,456	63,176,268	△ 7,158,812
資産合計	57,084,243	64,399,721	△ 7,315,478
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払金	41,870	180,270	△ 138,400
預り金	3,600	2,463	1,137
2. 固定負債			
流動負債合計	115,470	252,733	△ 137,263
負債合計	115,470	252,733	△ 137,263
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	56,017,456	63,176,268	△ 7,158,812
指定正味財産合計	56,017,456	63,176,268	△ 7,158,812
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(6,017,456)	(13,176,268)	(△ 7,158,812)
2. 一般正味財産	951,317	970,720	△ 19,403
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	56,968,773	64,146,988	△ 7,178,215
負債及び正味財産合計	57,084,243	64,399,721	△ 7,315,478

正味財産増減計算書 令和4年4月1日から令和5年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	7,158,812	4,969,046	2,189,766
受取寄付金振替額	7,158,812	4,969,046	2,189,766
雑収益	50,597	50,555	42
受取利息	597	555	42
雑収益	50,000	50,000	0
経常収益計	7,209,409	5,019,601	2,189,808
(2) 経常費用			
事業費	4,775,601	2,993,570	1,782,031
支払助成金	3,033,712	2,503,405	530,307
旅費交通費	703,830	131,050	572,780
謝礼金	66,821	24,501	42,320
食糧費	353,972	203,422	150,550
委託費	143,440		143,440
表彰費	3,055		3,055
消耗品費	212,291	29,053	183,238
雑費	3,428		3,428
通信費	34,050		34,050
印刷費	169,131	99,990	69,141
保険料	51,871	2,149	49,722
管理費	2,383,211	1,975,476	407,735
役員報酬	111,370	44,548	66,822
給料手当	1,200,000	1,200,000	0
旅費交通費	236,660	113,560	123,100
委託費	170,184	240,154	△ 69,970
租税公課	3,332	4,738	△ 1,406
食糧費	325,710	170,160	155,550
支払手数料	157,850	122,540	35,310
通信費	44,005	25,980	18,025
雑費	113,200		113,200
消耗品費	20,900	53,796	△ 32,896
経常費用計	7,158,812	4,969,046	2,189,766
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	50,597	50,555	42
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	50,597	50,555	42
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 19,403	△ 19,445	42
一般正味財産期首残高	970,720	990,165	△ 19,445
一般正味財産期末残高	951,317	970,720	△ 19,403
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
受取寄付金	0	13,000,000	△ 13,000,000
受取寄付金	0	13,000,000	△ 13,000,000
一般正味財産への振替額	△ 7,158,812	△ 4,969,046	△ 2,189,766
当期指定正味財産増減額	△ 7,158,812	8,030,954	△ 15,189,766
指定正味財産期首残高	63,176,268	55,145,314	8,030,954
指定正味財産期末残高	56,017,456	63,176,268	△ 7,158,812
III 正味財産期末残高	56,968,773	64,146,988	△ 7,178,215

財産目録 令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	普通預金 北海道銀行鳥居前支店	運転資金として	1,066,787
流動資産合計			1,066,787
(固定資産)			
基本財産	基本財産積立資金 普通預金 北海道銀行鳥居前支店	基本財産として	50,000,000
特定資産	公益目的事業引当資産 普通預金 北海道銀行鳥居前支店	寄付により受け入れた預金であり、公益目的事業に使用している	6,017,456
固定資産合計			56,017,456
資産合計			57,084,243
(流動負債)			
未払法人税等	市民税、道民税	法人市民税及び法人道民税の均等割額	70,000
未払金	資料発送費	公益目的事業に係る経費の未払金	41,870
預り金	源泉所得税	公益目的事業の報酬に係る源泉所得税の預り金	3,600
流動負債合計			115,470
負債合計			115,470
正味財産			56,968,773

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産積立資金	50,000,000	0	0	50,000,000
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
公益目的事業引当資産	13,176,268		7,158,812	6,017,456
小 計	13,176,268	0	7,158,812	6,017,456
合 計	63,176,268	0	7,158,812	56,017,456

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
基本財産積立資金	50,000,000	(50,000,000)	(0)	-
小 計	50,000,000	(50,000,000)	(0)	-
特定資産				
公益目的事業引当資産	6,017,456	(6,017,456)	(0)	-
小 計	6,017,456	(6,017,456)	(0)	-
合 計	56,017,456	(56,017,456)	(0)	-

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的達成による振替額	7,158,812
合 計	7,158,812

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表に対する注記2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載しているため、記載を省略する。

2. 引当金の明細

該当なし。

監査報告書

令和5年5月10日

公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会
理事長 小野寺 眞 悟 様

公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会
監事 水野 克也
監事 田澤 泰明

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果につきまして、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事として、理事及び事務局等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席して、ことあるごとに、理事及び事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 一 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

第3号議案 令和5年度及び6年度理事の選任の件

令和5年度及び6年度の理事選任につきましては、定款第17条で、「理事の選任については、再任を妨げないことともされております。」ことから、前期理事の全員の再任のご賛同の決議をお願いいたします。